

良質なチーム医療に必要な多職種カンファレンス

理事長・院長 両角 國男

良質な医療を担保するために不可欠なキーワードは「チーム医療」で、どの病院でも取り組んでいます。日本のチーム医療の先駆けは、チーム医療の重要性が語られることのなかった40年以上前の透析医療にあります。

毎回の透析治療終了後に、医師、看護師、臨床工学技士、栄養士、ソーシャルワーカーが参加し、一人一人の患者さんにより良い治療を提供するにはどうすればよいのかを議論していました。ある患者さんの治療が思うようにできないのは何が問題なのか、医学的課題はどう改善できる見込みなのか、ご家族のサポートはどこまで期待できるのか、職場の問題はどう解決したらよいのか、経済的問題に社会的サポートは可能なのかなど、「患者さんのために」を真剣に考えて、実施していました。増子記念病院では、チーム医療について40年以上前から取り組んできた実績があります。血液透析のみでなく、病棟の入院患者さんカンファレンスなど多職種が参加してのカンファレンスを行ってきました。



今年4月に病院長職を兼務することになり、病棟回診をしています。入院中の患者さんが良くなり早く在宅復帰できるためにどうすればよいかを医療チームとして考える「多職種カンファレンス」を行うための回診です。このカンファレンスは、毎週開催し、担当医師、参加可能な病棟看護師全員、病棟担当薬剤師、管理栄養士、リハビリを担当するリハビリテーション課スタッフ、透析患者さんには臨床工学技士、病診連携室から退院調整看護師、在宅看護支援ステーションの看護師、サテライト透析クリニック昂看護師など20名以上が参加しています。その患者さんご家族にとって最善の結果となるように、各職種の専門性に敬意を持つ姿勢で、それぞれの立場から積極的な意見を交わし、治療方針や退院支援の方針を決めています。今後は、外来診療などでも多職種カンファレンスの導入も考えていくつもりです。

患者さんやご家族の希望を正確に把握できていないで医療者の見解で方針を決めることになることを避けることが重要です。実りある多職種カンファレンスのためには毎日診療を担当するそれぞれの専門職が患者さんやご家族の気持ちを受け取ることが基本です。増子記念病院の理念は、「患者とその家族、職員とその家族の幸せのために」にです。「チーム医療の輪の中心」にあるのは患者さんとそのご家族です。増子記念病院の診療がより良くなるために皆さんと手を携えながら、基本理念を忘れることなく全職員は進んでいきます。

● 増子記念病院では整形外科診療を開始します

総合診療科 医師 橋本 俊

① 整形外科の病気

医療には内臓疾患とは別に運動器の疾患があります。それは、骨、筋肉、腱、靭帯、軟骨と末梢神経の病気です。毎日私どもは歩行をはじめ寝ていても寝返りなどの運動をします。そんなときしびれを感じたり、痛かったりしたら耐えられないものです。また、怪我をするのも運動器の外傷が最も多いものです。透析の患者さんや女性の方では骨がもろくなる骨粗鬆症があり、治療をしないと背骨の骨折が知らない間に起こっていたりします。心配かな？と思われたら整形外科の受診をお勧めします。

② 診療・診断・治療

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院の協力を得て、毎週木曜日、土曜日の午後に整形外科の専門的診療を行います。そのほか水曜日以外は総合診療で対応いたします。この4月からCTに加え最新のMRI機器を導入し、整形外科領域疾患の診断を確かなものにしてあります。また、治療面では経験豊富なリハビリテーション課スタッフによるリハビリテーションでバックアップいたしております。



● 物忘れが心配なときに・・・ ～認知症診療のご案内～

神経内科 医師 竹内 有子

「最近物忘れがあって心配だわ・・・」と、感じられる方は、少なくないと思います。年齢相応の物忘れと、病気の始まりとの区別は、専門家でも難しいものです。

物忘れのみでなく、日時の把握が混乱する、今まで意欲的に取り組んできたことに興味が持てなくなってきた、怒りっぽくなってきたなどの症状があれば注意信号です。



「私くらいの年齢になれば、物忘れも仕方がない」と、思われている方も、ちょっと待ってください。内科的な疾患、栄養障害などから起こる認知症もあり、この場合はお薬を飲むと認知症の症状も改善します。アルツハイマー病なども、早期に診断し、治療を始めることで進行を遅らせることができるとされています。

ご本人、あるいはご家族でも心配な症状があれば、まずは神経内科に受診してください。患者様、ご家族と一緒に、健康で楽しい生活が続いていくよう考えていきましょう。

● 外来看護相談のご案内

当院では、主に肝臓病・腎臓病・糖尿病などの長期にわたる慢性疾患の患者さん・ご家族の方へより良い療養生活を送っていただくために、個別看護相談を行っています。

日常での生活や病気について不安なこと、気になること、知りたいことはありませんか？ 病気と向き合い、上手に付き合っていくためには、患者さん自身による自己管理がとても大切です。

看護師が患者さんの話を伺いながら、ご提案させて頂いたりご質問にお答えしていきます。また他職種とも連携をとりながら支援致します。

相談は予約制です。お気軽に外来スタッフへお申込みください。



● くるみん認定を取得しました！

当院では、職員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に力を入れ、その支援のために様々な制度の整備や取り組みを行っています。その結果、平成29年8月に、厚生労働省愛知労働局より次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」に認定され、次世代認定マーク「くるみん」が付与されました。



◆ くるみん認定について

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした企業に対し、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定をします。認定企業には、次世代認定マーク「くるみん」が与えられます。愛知県内では現在約100社が、「くるみん認定」を受けています。

これからも、皆さんに信頼される医療機関として、「患者とその家族、職員とその家族の幸せのために」という当院の理念のもと、職員がより生き活きと働ける職場づくりを行ってまいります。

「ますこ・すばる新聞 平成29年 秋号」 発行元：増子記念病院 広報委員会（平成29年10月）

医療法人 衆済会 増子記念病院
〒453-8566
名古屋市中村区竹橋町35番28号
TEL: (052)451-1307 / FAX: (052)451-1324
公式HP: <http://www.syusaikai.com/>

増子クリニック 昴
〒453-0856
名古屋市中村区並木1丁目322番地
TEL: (052)412-8211 / FAX: (052)414-2962
公式HP: <http://www.hd-subaru.jp/>